

# 社協だより

第11号

令和4年  
11月発行

えがおで介護  
こころのネットワーク  
あんしんサポート

大淀町の自然遺産

## 土田八幡神社の樹叢

大淀町の土田に位置し、  
大淀消防署の交差点から国  
道169号線を東へ歩いて  
すぐのところにあります。



### ◆内容◆

- ・赤い羽根共同募金ご協力をお願い
- ・新入職員の紹介
- ・げんき&かつべカフェからのお知らせ
- ・くらしと福祉に関する実態調査について
- ・サロン交流会について
- ・ほうかつ通信

発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下湊 1223 番地 TEL0747 - 52 - 1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

# 大淀町 社 協 だ よ り



じぶんの町を良くするこころみ  
赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



## ●街頭募金のお礼

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。

10月2日、町内の各所（道の駅、ライフ、吉野ストア、オークワ）で、民生児童委員ご協力のもと街頭募金活動を実施いたしました。

皆さま大変お忙しい中、多くの方に募金いただきましたことを心よりお礼申し上げます。また、いつも快く場所を提供してくださいます各店舗の皆さまにも深く感謝いたします。誠にありがとうございました。



## ●共同募金運動は地域の皆さまに支えられています

共同募金運動は数ある募金活動の中で唯一、社会福祉法に明記されている募金活動で、翌年3月31日までの期間中、全国各地で行われます。

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決にあたる民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」としての取り組みで、自治会の方々・協力団体・地域のボランティアをはじめ、深い理解と熱意をもった多くの皆さまに支えられています。

共同募金は、「たすけあいの心」を育み、身近なボランティア活動などへの参加を推進する役割があります。



## ～大淀町社協に新しい仲間が加わりました～



7月に入職いたしました社会福祉士の川下裕子（かわしたひろこ）です。ふれあい活動センターを担当しており、先輩方に指導を受けながら、地域の皆さまが楽しく集えるふれあいの場を提供できるように、日々頑張っているところです。私生活では、3年程前から始めたランニングが趣味になり、昨年はフルマラソンを完走しました。仕事も持ち前の持久力で、じっくりコツコツ取り組んでいこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## ～げんき&かつべ Café からのお知らせ～

「げんき&かつべカフェ」の開催曜日が変わりました。

新しい開催日は、毎月第1・第3木曜日となっています。（祝日の場合は、お休みです。）

10月20日（木）より再開しています。地域の誰もが気軽に交流できる場所となっていますので、是非お立ち寄りください。福祉の相談もお気軽にどうぞ。

開催時間は13：00～15：00です。



11月・12月の開催予定日  
11月17日（木）、  
12月1日（木）、12月15日（木）

「げんきかふえ」は町内の6つの社会福祉法人（美吉野園・すぎの子会・延明福祉会・仁風会・せせらぎ会・大淀町社会福祉協議会）が協働で設立した大淀町元気な地域づくり推進協議会が主催しています。

# おおよどアクシヨンプランで地域の福祉を活性化

## 「町民のくらしと地域福祉に関する実態調査」に

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

前号でも、お伝えさせていただきましたが、現在大淀町では、行政と社会福祉協議会が協働で、第3次おおよどアクションプラン（大淀町地域福祉計画・地域福祉活動計画）の策定作業を進めております。この計画は、福祉に関する活動を行っている方々や、地域で暮らしている住民の皆さまと協力して、地域福祉を進めていくためのものになります。そのため、策定にあたっては、より多くの方々の声が必要になってきます。



そこで、計画づくりの一環として、9月4日から9月6日の3日間、町内23地区の約750世帯を対象にくらしと福祉に関する実態調査を行いました。

この調査は、対象地区の住民の方々に「大淀町のこれからのくらしと地域福祉をよくするためのアンケート」へ回答をいただくという方法で実施しました。

当日は行政・社協の職員、京都の大谷大学の学生が調査員として、一軒一軒ご自宅を訪問し皆さまに直接お会いして、調査の説明と協力をお願いに回りました。本来であれば、その場で調査員とともにアンケートへの記入をお願いできれば良かったのですが、コロナ禍で長時間の滞在は控える必要があったため、アンケートの回答については、後日郵送していただく形をとらせていただきました。

今回、自宅訪問でご対応くださいました住民の皆さま、実態調査にご協力くださいました住民の皆さま、各地区の区長さまには、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



アンケートでは、住民の皆さまの仕事や暮らし、健康、医療、福祉のこと、日頃地域で何とかしなければならぬと思うことなどについて、感じておられることなどについて、お尋ねさせていただきました。そこから、皆さまの日々の生活での課題や悩み、地域の特性などを明らかにしていき、計画づくりに反映させていただきます。

住民の皆さまとともに、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるまちづくりを進めるため、より多くの方々に活動に参加していただける魅力のある計画となるよう策定を進めて参ります。今後とも皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

## サロン交流会を行いました

7月25日、各地域でサロンを運営されている代表者等で集まり、各サロンでの感染対策や活動に対しての工夫している点などについて話し合いました。また、全国的に広がりを見せている「いきいき百歳体操」も体験しました。

通常の感染対策はもちろん飲食を控え、時間を短くして開催されているところや、すでにいきいき百歳体操を取り入れられているところもあるなど、サロンの形態も従来の形にこだわらなくても、なってきたりしています。交流会では、他の地域のサロンとの認識の共有や情報交換をしていただくことができ、有意義な時間になったことと思います。

地域の住民さんの声を傾け、尽力されているサロン関係者の方々は非常に有難い存在です。これからも皆さんの地域のため、福祉活動の推進にご活躍していただけることをお願い申し上げます。



# ほうかつ通信

◆◆健康寿命を延ばす住民活動を全力支援

～大淀町介護予防ボランティアの活動紹介～



皆さんこんにちは。今回は、地域の高齢者の健康づくりの推進にご活躍されているボランティア団体「介護予防リーダースマイル」（以下スマイル）について紹介させていただきます。

また、7月には新たな発見を求め、香芝市と広陵町の介護予防リーダーの団体とオンライン交流会を実施しました。

11月・12月の活動としましては、介護予防教室「いきいきふれあい教室」を役場会場で3回、上記曾会場で2回実施する予定です。今後は、口腔機能向上に関する内容も、お伝えできればと思っています。

## ●「スマイル」とは

高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活が続いていくためには、健康を維持していくことが必要です。そのためには、住民の皆さまご自身が主体となって介護予防に取り組むことが大切になります。

そこで平成27年、気軽に楽しくできる介護予防活動を町内に普及させるため、大淀町の健康づくりの担い手として「スマイル」が発足しました。今年の5月には、養成講座を受講された4名の方が加わり、現在43名で活動しています。地域包括支援センターでは「スマイル」の活動をサポートしています。

## ●スマイルの活動

活動としては、町内の高齢者の方々を対象に教室を開き、「誤嚥にナラぬ体操」「よどり音頭」「タオル体操」などの介護予防運動や認知能力のトレーニングにもなる各種のレクリエーションを行っています。

## ●スマイルから皆さんへ

今後も感染症対策をしつかり取りながら、「身体を動かす」「人との会話を楽しむ」「よく笑う」をモットーに頑張っていきますので、地区でのお集まりなどに、スマイルを呼んでいただけたら嬉しいです。



## ●地域包括支援センターへ相談

介護、医療、暮らしの困りごと、その他にも介護予防教室、出前講座等のご希望がありましたら、地域包括支援センターまでご連絡ください。

☎0747-5217760

遺言・相続のことなら（相談無料）

## なかで 中出司法書士事務所

大淀町土田一八四一九 ライフ・コーナン横  
JA西部支店前

☎0747(五)26577

## あとがき

今回の表紙は土田八幡神社の樹叢（じゅそう）です。土田八幡神社は土田地区の氏神で、住宅地のなかに鎮座しています。

境内には、スギ、ケヤキ、ヤブニッケイ、モミなどの高木が生え、見事な樹叢を形成しています。中でも、社殿のそばにたつタブノキは、高さ約22m、目通り周囲約4・3mと圧巻の大きさです。タブノキは海岸近くに多いクスノキ科の暖地性の木で、この社叢は吉野地域でも数少ない縄文海進時代の記憶をとどめるものと考えられています。

2021年3月31日に「おおよど遺産」に選定されています。



私も近くの道路を通るたびに、少し気になっていた場所でしたので、今回足を運ぶことができて良かったです。今では通るたびに、素晴らしい景色だと感じています。

(ナギ)